

校長だより

令和四年四月十五日(金)

岸和田市立北中学校 松下孝徳

令和四年度が始まりました。幾度となく変異を繰り返す新型コロナウイルスと付き合って二年以上がたちます。生活習慣も大きく変わり、消毒・マスクが当たり前になり、今まで遠い存在であったタブレットが身近なものとなりました。どこへりでも授業を受けられる体制や、当たり前のようへ授業中にタブレットを用いて学習を行うことができるようになりましたのはコロナの大好きな副産物かもしれません。また海外では痛ましい戦争のニュースが日々報道され多くの悲惨な映像を見ると、胸をえぐられるような気持ちになります。一刻も早いコロナと戦争の終息を願うばかりです。

さて、七日に入學式が行なわれ百二十人の新入生を迎えることがでござました。元気いっぱいの表情、キラキラした目、パリッと制服を見ると、どちらまで気が引き締まる思いでいた。そして三年ぶりに行なわれた全員そろそろの一学期始業式感無量の思いで行なわれた。そこで話した内容を紹介しますね。ついさきほど令和四年度が始まりました。先ほど北中を去られた先生の紹介と共に着任された先生を紹介しました。クラスも進級して、出会うことを祈っています。(中略) 戦争の話) 一年生は、これまで

ら初めての経験をたくさんします。学習面、友人面、部活動面等、多くの初めてでたくさん吸収していく下さい。そして何をしたいのかを見つけてください。それを見つけることが出来ば、もっともっと学校生活が楽しくなります。二年生は何としているかを超えて中1学年として何ができるのかを見つけてください。二年生では自分の特性、性格を見つめる場面、また将来の職業について考える場面、多くあります。自分を知り、できること、できないこと、そして、できることをどうすれば克服できるかを考えてみてください。三年生は、より最上級学年です。自分のできることを見極めて、しなくてはいけないことを考えてください。一年後には北中にはいません。自分は来年、どのステージに立っているのか。そのためには何をせねばならないのか、しっかりと考え方、行動で秘すよつにして下さい。一つの行事の名前には『中学校生活最後の』がつります。後悔することなく、日々有意義な時間を過ごしてほしいと思します。

保護者の皆様、本年度、北中学校長の松下です。三員になりました。よろしくお願いいたします。すべての職員が、すべての生徒を卒業して、また学校づくりを目指して様々な取り組みでいきます。本年度は四十の影響音でよろしくお聴き下さい。今後も変わらぬご支援、ご協力のほど、よろしくお願いします。